

八王子市議会レポート

No.71 2015年11月20日

つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派
厚生委員会所属

北野台在住



編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

4期目 スタート!

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>

安全保障関連法案は、戦争するためのもの！！ 暴力が暴力を産んでいく。テロの危険を増加させていく。

9月19日未明、多くの国民の反対の声を無視して、安全保障関連法案が衆議院本会議で、強行採決されてしまいました。国会の前には、身動きできないほどの反対のプラカードを掲げる多くの人が帰ることもせず、国会の審議を見守っていました。

警察官は、頑強なガードを固め、バスをたてに横に広がろうとする人を押し返します。これが民主国家のやることなのでしょうか。

国会の中は、委員会の採決は、まったくの無法地帯です。採決不存在。委員長は、採決を行う趣旨の発言もしていなければ、だれが起立しているかも、自民党議員に守られてガードされていたので、確認しようもない。議事録にも、混乱の様子が明記されていたにも関わらず、あとから、採決したことを追記するというでたらめを行いました。

また、本会議では、公聴会の報告もない中、強行採決です。山本太郎議員が、「国会内の議会内民主主義は死んだ」として、喪服で牛歩戦術です。安倍政権は、まさに数をわがものに、「なんでもあり」の無法状態です。そして、次々と、軍事作戦の具体化が始まっています。その一方で、国民には、『新3本の矢』なるものを打ち立てて、経済が大事と、アベノミクスの総括もしないで、次のステージに進もうとしています。でも、その実態は、空疎なもので、内実がないものばかり。国民をここまで馬鹿にした政権はありません。

いっていることとやっていることが全く矛盾していることばかり。私たちは騙されないぞ！

八王子では「NO WAR アクション」を毎月行います。政権のウソを徹底的に糾弾していきましょう。

次回は 12月13日 八王子駅東急スクエア前



■陣内やすこの一般質問

生活保護の切り下げと影響、アルバイトの収入認定について

陣内：生活保護切り下げの影響をどのように認識しているのか？ この影響は、住民税の非課税基準の引き下げや最低賃金が低く抑えられたままになるという副次的影響もあり、他人ごとではない。誰もが享受できる「健康で文化的な生活」について、考えていきたい。

福祉部長：すべての世帯で下がっている。生活保護基準額の見直しによる廃止世帯はない。

(こんなことをきいていないんだけどな・・・) 相談件数の減は、早期対応ができていないから、申請件数の増は、高齢者世帯が増えたことによるもの。

陣内：生活に苦しんでいる人の声を理解していないと感じられる答弁。申請しますか、という問いかけはあるのか。

福祉部長：丁寧に説明し、ご理解をいただいているところです。

(かみ合っていないですね)

陣内：窓口では申請を断ることができないはず。しっかりと事情を伺い、追い返された問印象をもたれないように対応をお願いします。住宅扶助にも引き下げとなる。具体的な配慮はされているか。

福祉部長：大家交渉、見直し前の家賃支給などもある。

陣内：就学、通院などで転居が困難な場合は例外措置を認めている。きめ細かく対応するように。

陣内：高校生のアルバイトの扱いについて。不正受給にならないような方策はあるのか。

福祉部長：高校進学が決まったとき、ケースワーカーが本人にあって、アルバイトの収入の注意事項、控除などの説明を行っている。(これまでもアルバイト代が不正受給となったケースはあった模様)

陣内：基礎控除、未成年控除、自立更生控除などをきちんと説明すれば、ほとんど収入認定になるような金額にならないと思う。昨年4月からの対応とのことで、徹底をしていただきたい。

陣内：生活保護費の削減は憲法25条の生存権の問題。生活保護の補足は2割程度。若年や高齢者、ひとり親世帯で貧困が広がってきている。ケースワーカーの増員や保健師の増員、就労に特化されない様々な支援メニューの提供で、支援すべき。市長の決意を聞く。

市長：最低生活を保障するだけでなく、きめ細かな支援で、自立を助長することが重要な役割と考える。運営をしっかりと図っていきたい。

(貧困の連鎖を断ち切れるような支援が必要です)

性的マイノリティの理解を深めるために

陣内：文部科学省から性的マイノリティの児童・生徒に対する配慮についての通知が出ている。電通総研の調査によれば、13人に1人が当事者であるとのこと。教育委員会としてどういった取り組みをするのか。また、12月にある人権週間などに向けての取り組みをお聞きします。

指導担当部長：校長会などでの説明等を通して、教員ひとりひとりの性的マイノリティに対する正しい理解、意識啓発を行い、支援・相談体制の充実を図っている。

総務部長：性的マイノリティを含め、人権週間等で啓発活動を進めていきます。

西宮市の教育委員会が作成した啓発パンフです。参考にしよう。



高齢者の就労。シルバー人材センターについて

陣内：自転車駐車場の管理をシルバーの仕事にできないのか。

道路事業部長：管理が市に帰属となっていない。また、費用や管理の安定性からシルバー人材の活用は考えていない。

シルバー人材センターの仕事拡大を含めて、高齢者の就労支援を市としてどう行っていくのか、市長の考えを聞いたのですが、時間切れで答弁はなし。残念！（第4回定例議会で確認します）

※一般質問の議会報での記載から、発言者氏名がなくなり、質問を大きなくくりで掲載するようになってしまっています。誰が、どんな質問をしたのかが、わからないという声が聞かれます。また、質問を大きなくりにしたことで、質問しているにも関わらず、市民の皆様にお知らせされないことも多々あります。新しい議会構成になったこともあり、議会報の作り方に対する検討も始まっています。ぜひ、発言内容と発言者がわかるようにするだけでなく、ここが知りたい、こんなことをもっと掲載してほしい、といったお声をお寄せください。

■総括質疑

陣内: 借金の返済カーブが緩くなっている。一般会計においては、返す以上に借りないが守られていないことから、借金が増えている。臨時財政対策債を借りないようにする、あるいは、少しでも少なくすることを考えるべき。2014 年度は、臨時財政対策債を 48 億円借り入れている。この根拠は？

財務部長: 市債と基金のバランスを考慮して、決めた。

陣内: 説明になっていない。なぜ、38 億円ではダメなのか。毎年、前年度の臨時財政対策債の償還金額が収入されている。その差額でもいいのではないか。大目に借り入れを行っている事実がある。市民に納得のいく市債管理をするためにも、市債残高の数値目標を設定すべきではないか。

市長: 一般税源、市債と基金、この 3 つのバランスを図ることが重要。そのことから、将来負担比率を財政指標にしている。

※将来負担比率というのは、貯金と借金の割合なので、貯金を殖やすことで、操作できるといえます。その意味もあって、八王子では、八王子駅周辺整備基金や高尾駅改善基金などのハード事業を目的とした基金が新たに作られています。これって、特定ポケットにお金を振り分けるもので、財政調整基金とは違います。財調もどれくらいを目標にするか、決まっています。ハード事業に比重が高まっている市財政です。さらなるチェックが必要です。

第 2 回議会報告会が開かれました！ (201501.11)

昨年の反省をふまえ、わかりやすい報告会をめざしました。いかがでしたか？

▼教育委員の公募中止について

教育委員の人事案件が提案されました。しかし、その選考において、今までの保護者枠の中で、公募で行ってきた選考を、PTA 等の推薦方式に変えたことから、以下の理由で反対討論を行い、**採決においては退席**しました。

- ・選考の透明性が担保されていない
- ・保護者に選考方法の変更が周知されていない
- ・保護者公募枠を廃止理由が明確でない
- ・選考範囲を狭めることになる
- ・広く人材を募集するという方向性になっていない。

▼少人数学級の積極的推進をもとめる意見書について賛成をしました。採決結果は不採択。

公明党は 4 月の統一地方選挙での公約であったはず。なのに、この意見書に反対をしました。

また、自民党も少人数学級運営を進めることを教育再生会議で提言しており、中には、30 人学級への言及もあるほど。その自民党、公明党が反対するとは、どういった論理なのでしょう。学力テストで、財務省がいう少人数学級の効果がなかったとの議論は、本当に検証されているのか、はなはだ疑問です。教師の目が行き届くことによって、いじめなどの認定件数が上がったという理解もできるのです。

大きな国民的要望であるこの 40 人学級の改善を急がなければなりません。今、子どもたちを取り巻く環境は、いじめや不登校、そして、発達障害など様々な課題を抱える子どもたちが多くいます。日本における子どもの貧困も見逃せない課題です。

教師だけ、学校だけが、その責を負うものではありませんが、学校でどう対応するのか、学力だけで図るのではなく、非認知スキルをどう伸ばせるのか、をしっかりと学校教育の中で定着させなければならないことは明らかです。そのためにも、少人数学級の推進が必要です。

▼安保法制に反対し、平和行政のさらなる推進を求める請願

提案説明・賛成をしました。結果は不採択

市民の方から、6 月議会での、安保法制の早期推進を求める意見書が可決されたことに対して、「市民の願いと違う」との声があがり、上記請願が提出されました。署名も短期間ではありましたが、662 筆集まりました。

審議では、今までも平和行政をやっている、という意見が大半をしめ、市民からの新たな提案が十分にくみ取られませんでした。国民の 8 割近くが反対、慎重審議を求めている安保法制が、強行採決されたことは民主主義への攻撃であり、市民の声にしっかりと耳を傾ける議会の役割を果たしていないといえます。残念な結果ですが、これからもあきらめずに、平和行政の推進に力を入れていきます。

■マイナンバーの学習会をおこないます。

人に 12 ケタの番号を付けて、収入状況や貯金、健康状態なども一元管理をするというマイナンバー制度が、10月から始まりました。

実際の運用は、2016年1月からですが、お手元に通知カードというものがそろそろ、送られてくるころではないでしょうか。

通知カードと個人カード。私をはじめ、会派として、この個人番号制度は、プライバシーの侵害、ならびに一元化することによって、情報漏えいの影響が格段に大きくなることなどから、反対しています。

書留が届いたらどうしよう？

番号をどう管理すればいいのかしら。様々な疑問があります。

職場に求められたら、受け取りを拒否したいんだけど、などなど。

私も十分に理解できていないこともあって、急きよ、学習会を企画しました。

専門家をお呼びしての、「なんでも Q&A マイナンバーの仕組み」です。

暮れのお忙しいときではありますが、ぜひ、お出かけください。

●日 時：2015年12月18日（金）午後14時から

●場 所：北野市民センター和室 8F

●資料代：300円

●講 師：白石 孝さん（共通番号いらないネット）

●主 催：マイナンバーを考える市民の会



■12月議会日程

11月30日	第4回定例議会招集 一般質問
12月1日	一般質問
2日	一般質問
3日	一般質問
4日	本会議 議案提案
7日	総務企画・厚生委員会
8日	文教経済・都市環境委員会
10日	代表者会
15日	最終日

■サービス付き高齢者向け住宅調査を行いました。

介護の社会化をすすめる1万人委員会 IN 八王子のメンバーとして、昨年、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の調査を行いました。

その報告書が出来上がりました。12月1日に書店店頭並びます。

ぜひ、お手に取ってみてください。

サービス付き **八王子の**
高齢者向け住宅と
高齢者の住まい



これからの高齢の方々の暮らしを考えるヒントが満載です。

頒価 630円

介護予防・地域生活支援事業の条例が提案されます。

要支援1, 2の方々の訪問介護・通所介護が介護給付サービスから切り離され、自治体の総合事業になります。八王子市では、2016年3月から実施です。保険制度・契約を大きな柱としてきた介護保険制度の大きな転換です。しっかり議論していかなければなりません。生駒市、奈良市、そして、松戸市など、先行自治体の視察に行ってきました。ホットラインにも参加。これらの他自治体の現状を見ながら、八王子での取り組みを安心なものにしていくためにも、多くの皆様の現場の声が必要です。一緒に考えていきましょう。

編集後記：4月の統一地方選挙が終わって、早8か月。政治課題が山積です。時々、心が折れそうにもなるのですが、政治をあきらめたら、そのツケは、みんな私たちに降りかかってくる。来年の参議院選挙から18歳投票となります。未来を信じて、平和を作り出していくことに力をあわせよう。来年1月は八王子市長選挙。成長ではなく、持続可能な社会を。(Y)